

市民生活部会における検討事項の全体像（案）

1 「市民生活」に関する、2025年に向けた神戸の課題・弱み（例） ～平成20年度「神戸の将来を考えるワークショップ」の結果を中心に～

2 「市民生活」に関する、神戸の特色・強み（例） ～あらゆる分野での、「協働と参画」の精神に立脚した施策の推進～

3 各施策の現状 ～神戸2010ビジョン 20年度検証評価結果より～

市民が不安に感じる事項	その原因
(1) 災害や新型感染症、犯罪やテロなどに対する不安	<ul style="list-style-type: none"> 大地震の発生 都市開発等に伴う風水害の拡大 気象変化による様々な問題 新型感染症等の流行 テロ発生 財政難による警察力の低下 等
(2) 地域コミュニティの希薄化に対する不安	<ul style="list-style-type: none"> 価値観の変化や長時間労働等による、地域とのつながりを求めない人の増加 少子化により子どもを介したつきあいの減少 震災の記憶の風化 ルールやマナーを守らない人の増加
(3) 少子高齢化・人口減少の進行に対する不安	<p><出生人口の減少＝少子化></p> <ul style="list-style-type: none"> 非正規雇用の増加等による低所得者の増加 子育て、教育費用の増大 子育てへのサポート不足 産婦人科医の減少 家族等に関する価値観の多様化 <p><流入人口の減少></p> <ul style="list-style-type: none"> 産業の停滞、雇用の場の減少 ニュータウンのオールド化、ゴーストタウン化 行政に対する信頼の低下 等
(4) 福祉に対する不安	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化や単身世帯増加等による社会保障費の増大 介護をサポートするしくみの不足 年金や退職金等に対する不安 福祉を支える市税収入の減少 等
(5) 食の安全・安心等に対する不安	<ul style="list-style-type: none"> 資源や食糧の需給バランスの不安定化、価格高騰 安全に食べられるものの減少 等

課題解決の方向性（市民WSのまとめ）

- ① マナー・モラルを高める
- ② 地域への参加・助け合いを進める
- ③ 行政の信頼を高める

<市民の領域> あいさつ・声かけ、一人ひとりが簡単なマナーを実践
 <協働の領域> 市民と行政の対話による市民意見活用、市民参加イベント
 <行政の領域> 市政のムダの排除

① 安全・安心
 震災教訓の継承・発信や、小中学校や住まいの耐震化、情報システムなど安全の基盤づくり、などの取り組みが進んでいる。
 今年5月の新型インフルエンザ発生の際にも、事前の発生初期対策訓練等が活かされ、協働により迅速な対応が行われた。
 消費者行政についても、昭和49年に全国に先駆けて「神戸市民のくらしを守る条例」を制定し、消費者の利益を守るため、消費者・事業者・市の三者の連携・協力のもと取り組んでいる。

② 地域力
 震災を契機に地域の絆が一層強まり、ボランティア・NPO活動等が活発に行われ、地域住民組織やNPOなど様々な活動主体と行政との協働により、高齢者・障害者等の見守りや、防災・防犯活動、子育て支援をはじめ、住みよい地域づくりが進められている。

③ 市民福祉の向上
 「神戸市民の福祉を守る条例（昭52）」に基づいて「市民福祉」の向上を図っており、概ね小学校区単位に自治会、婦人会、老人クラブ、民生・児童委員など各団体等で構成される「ふれあいのまちづくり協議会」が中心となり、地域の実情に応じた福祉活動を実践している。
 また活動拠点となる地域福祉センターをほぼ全域で整備している。
 全ての市民が利用できる総合福祉ゾーンである「しあわせの村」の整備や、さらに、高齢者介護や障害者自立支援のための基盤整備も順調に行ってきている。

④ ユニバーサルデザイン（UD）
 震災後の復興まちづくりが、ソフト・ハード両面からUDのまちづくりにつながっている。平成15年に市民の呼びかけで発足した「こうべUD広場（こうべユニバーサルデザイン推進会議）」を核に、地域と連携をしながら「世界一ユニバーサルなまち神戸」を目指した取り組みが進められている。

⑤ 子育て・教育
 地域にきめ細かく配置された児童館等を活用した地域における子育て支援や学童保育の充実、子どもたちや地域の状況を踏まえたきめ細やかな教育活動の展開等を行っている。

⑥ 医療・健康
 救急医療など医療体制が充実しており、また昭和61年の国際スポーツ都市宣言、震災後の医療産業都市構想、アスリートタウン構想、健康を楽しむまちづくりなど、市民が健康に暮らし続けられるまちづくりを進めている。

減災・防犯から始まる安全都市推進プラン
 <A評価2、B評価3、C評価0、D評価0>
 ○新型インフル対策訓練、国民保護マニュアル策定等：順調
 ○防災福祉Cを市全域で結成、現役世代の参加増加：概ね順調
 ○耐震診断・改修工事の増加、学校の耐震化78.7%：概ね順調

協働と参画による地域力強化プラン
 <A評価1、B評価2、C評価0、D評価0>
 ○地域担当制の全区実施のフレームづくり、まちづくり関係職員研修の創設、ホームページ全面リニューアル等：順調
 ○地域と行政の協働、「地域活動統合助成金」のモデル実施に向けて具体的フレームづくり等：概ね順調。

高齢者・障害者の地域安心プラン
 <A評価0、B評価2、C評価0、D評価0>
 ○特定高齢者把握の進捗、シルバーカレッジ卒業生等の地域活動への参画、障害者の就労支援体制の充実等：概ね順調
 ○災害時要援護者支援、ふれあいのまちづくり事業、障害者の相談支援体制の充実等：概ね順調。

ユニバーサル社会実現プラン
 <A評価0、B評価4、C評価0、D評価0>
 ○UDサポーター等、市民や事業者が主体となって各地域で多方面からUDを推進：概ね順調
 ○案内サインのUD対応の共通仕様書作成、歩道段差、波打ち解消や、市有建築物等のUDの取り組み割合増加：概ね順調。

子どもが健やかに生まれ、育つまちプラン
 <A評価2、B評価4、C評価0、D評価0>
 ○待機児童は解消傾向で、つどいの広場が充実、地域ぐるみの安全な居場所づくり、学校安全体制整備、わかる授業の推進、学校評価の充実等：概ね順調
 ○産後うつ対策、中高生の活動拠点・大学連携の拡充等：順調

健康まちづくりプラン
 <A評価1、B評価3、C評価0、D評価0>
 ○がん検診受診者の増加、小児救急医療体制の検討等の市民の健康づくり促進とその基盤づくり：順調
 ○総合型地域スポーツクラブ間の連携、体育施設のサービス向上：概ね順調
 ○市民への先端医療技術の提供による研究成果還元：概ね順調

1 一人ひとりを大切にする

すべての人がお互いに尊重し合い、誰もが安心して快適に
くらせるまちをめざす。

- ・人権尊重
- ・ユニバーサルデザイン（UD）の推進 等

2 次の世代を育む

少子化に歯止めをかけ、子どもが健やかに育まれるまちを
めざす。

- ① 子育てを家族と社会全体でささえる
（保育サービスや地域での子育て支援の充実、ワークライ
フバランスの推進 等）
- ② 特色ある教育を推進する

3 くらしに安全と安心をもたらす

生活の様々な面における市民の不安解消に取り組み、安心
してくらせるまちをめざす。

- ①安全なくらしをまもる（防災・防犯等の危機管理の充実）
- ②安心なくらしをささえる（健康づくり、医療体制整備等）
- ③生きがいのあるくらしを進める（スポーツ・生涯学習等）
- ④安心できる消費生活を実現する

4 とともにささえあう社会をめざす

超高齢化社会に対応に伴う、高齢者・障害者等の福祉ニー
ズの増大に対応し、社会全体で福祉をささえるまちをめざす。

- ・認知症や発達障害への対応も含めた生活支援
- ・見守り充実等を通じた地域支援
- ・障害者の就労支援 等

5 自律的な地域コミュニティをつくる

多様な活動主体との協働のもと、地域住民自らが総合的・
自律的なコミュニティづくりに取り組むまちをめざす。

- ・人と人のつながりが豊かな地域づくり
- ・地域を支える人財づくり
- ・地域の実情に応じた活動支援 等

網掛け部は、第1回市民生活部会（9月22日）審議予定項目